

第18回サイエンスカフェ★えひめ

ため池管理が 希少トンボを 育む



オオキトンボは全国各地で絶滅が心配されている赤トンボの一種ですが、松山市北条地域のため池では、比較的安定した生息が確認されています。

なぜ、北条地域はオオキトンボの生息に適しているのでしょうか？

そこには、ため池の水管理と同種の生活史に密接な関係があることが明らかになってきました。その調査プロジェクトの経過を報告します。

◆話題提供◆

◆久松 定智 さん

愛媛大学農学部農生態学研究室研究員等を経て、2015年より愛媛県立衛生環境研究所・生物多様性センター嘱託研究員。愛媛県版RDB改定の際にはトンボ目を担当。

◆NPO森からつづく道

H27年度より、松山市北条地域の里地の生物多様性保全を目的に活動を展開中。H28年度、里地に生息する動植物が、農作業によって変化する環境をどう利用しているか解明する調査プロジェクトを開始。

★お申し込み★

お名前、電話番号、e-mailアドレス(お持ちの場合)を明記の上、下記の連絡先まで、e-mailあるいはFAXにてお申し込みください。

NPO 森からつづく道 (松山市鉄砲町1-7)

e-mail: info@morimichi.org

FAX: 089-992-9152

(ご提供いただいた個人情報は適正に管理し、サイエンスカフェ★えひめ、自然観察会等のご案内にのみ使用します。)

日 時：平成29年

2月24日(金)

19:00~20:30

場 所：愛媛大学城北キャンパス
(松山市文京町3番)

愛大ミュージアム 3階 343会議室

対 象：身近な自然に関心のある人、30人

参加費：200円

